

令和元年度（平成31年度） 事業報告

（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

事業の状況

社会の繁栄の基礎は、科学技術の進歩と産業経済の発展にあるとの考えに基づき、わが国の優れた独創的な研究開発を推進し、科学技術の発展と国民生活の向上に貢献したいという当財団設立提唱者市村氏の想いを実現するため、令和元年度も関係各方面の方々のご支援とご協力により以下の事業活動を積極的に展開し所期の成果を収めました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により市村賞贈呈式を始め各種事業に影響が出ました。

1. 科学技術の研究開発助成

(1) 新技術開発助成

科学技術に関する独創的な技術を実用化するために技術開発の努力をしている中小企業へ助成する事業です。令和元年度は15件（総額271,240千円）の助成を決定し、令和元年8月2日及び令和2年2月13日に、財団本部において助成金を贈呈しました。なお、前年度の第2次より募集を開始した環境分野については、当該年度の第2次において初めて1件の助成案件がありました。

(2) 地球環境研究助成

人類の継続的発展のためには地球環境の保全、中でも地球温暖化対策が喫緊の課題となっています。このような状況に鑑み、重要課題解決のための研究テーマに対して助成を行う事業です。審査委員会の推薦に基づき3件（総額13,480千円）の助成を決定し、令和2年2月14日に、経団連会館において助成金を贈呈しました。

2. 新技術顕彰(市村産業賞、学術賞、地球環境賞の贈呈)

(1) 市村賞の贈呈

令和元年度の第52回市村賞は、産業賞(本賞1件、功績賞2件、貢献賞4件)、学術賞(本賞1件、功績賞2件、貢献賞5件)、地球環境産業賞(功績賞1件、貢献賞2件)、地球環境学術賞(貢献賞1件)合わせて19件(賞金総額101,000千円)の受賞が決定しました。

第52回市村賞贈呈式は令和2年4月13日に、帝国ホテル東京「孔雀の間」に

て予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一旦は7月15日に延期しましたが、最終的には中止となりました。

(2) 国際技術交流：国際研究集会参加助成及び国際研究集会開催助成
市村学術賞、地球環境学術賞の受賞者が国際会議などの国際研究集会に参加する場合の渡航旅費の助成について、6件の申請がありました。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2件のキャンセルがありました。
国際研究集会開催助成は、3件の申請がありました。

(3) 市村賞受賞記念フォーラムの開催

これまで、市村産業賞受賞者による記念講演会や学術賞受賞者による先端技術講演会を、(株)リコーの事業所でそれぞれ開催してきました。前年度より市村賞受賞者や市村賞にゆかりのある第一線の研究者・技術者に最先端の科学技術について講演いただくことで、当財団の活動目的である科学技術の振興を図るとともに地域産業振興への貢献を目的に、市村賞受賞記念フォーラムを開催しました。前年度に引き続き当財団の創設者である市村清氏の出身地に近い、グランドハイアット福岡にて令和元年7月22日に行いました。
基調講演として、東京大学 教授 松尾 豊 様による「AIで世界と戦うには～AI時代における社会や企業のあり方～」と題してお話し頂くとともに、第51回市村産業賞・学術賞・地球環境賞の中より、産業賞本賞の田辺三菱製薬(株)をはじめとする8テーマにつき受賞内容を中心に、独創的な創意工夫と実用化への取り組みについてお話しいただき、約130名の方が熱心に聴講され、活発な質疑等が行われました。会場では、フォーラムと併せて財団の各事業の紹介、並びに新技術開発助成で完了認定を受けた企業の開発成果の展示も実施しました。終了後には同ホテル内にて、交流会を実施し、講演者や参加者間での技術交流が行われました。

3. 少年少女創造性育成

(1) 第50回市村アイデア賞

第50回市村アイデア賞は、関係者の協力を得ながら各地に出向いて募集活動を行ってきました。その結果7月1日から9月10日までの募集期間に、34,697件の応募がありました。応募数は毎年増加していましたが、今回も3万件を超え、過去最高を更新しました。

審査委員会の推薦に基づき、その中から個人賞として文部科学大臣賞1件、市村アイデア優秀賞1件、審査委員長特別賞1件、朝日小学生新聞賞1件、朝日中高生新聞賞1件、科学技術館館長賞1件、市村アイデア記念賞6件、市村アイデア奨励賞24件、佳作50件、努力賞62件を、団体賞として最優秀団体賞1件、優

秀団体賞 2 件、奨励団体賞 3 件、努力団体賞 10 件を決定しました。

令和元年 11 月 22 日に北の丸の「科学技術館」に於いて表彰式を実施しました。50 回を記念して、ノーベル賞受賞者で科学技術館館長の野依良治様よりご挨拶と、第 16 回市村アイデア賞並びに第 47 回市村学術賞を受賞された、東京大学大学院 准教授の五十嵐 圭日子様よりご講話を頂きました。賞状、トロフィー、奨学金を贈呈するとともに、佳作に対し楯、努力賞に対し賞状を贈呈し表彰しました。なお、個人賞の奨学金と団体賞の賞金の合計は 4,730 千円でした。

(2) キッズ・フロンティア・ワークショップ

小・中学生を対象に科学技術に関する講話や実験・製作などをおして、科学の原理を楽しみながら理解し、科学技術への興味、意欲を高めることをねらいに（公財）日本科学技術振興財団との共催、文部科学省、朝日新聞社、朝日学生新聞社の後援、（株）リコーの特別協賛で「かがく・夢・あそび」をスローガンにワークショップを実施しました。

令和元年度は、半日コースを令和元年 11 月 22 日市村アイデア賞の表彰式後に北の丸の「科学技術館」で実施し、受賞者の小・中学生を含む保護者・引率の先生など合わせて約 110 名が参加しました。冬休み 1 日コースは令和元年 12 月 21 日、22 日に広島市の「まちづくり市民交流プラザ」において、（株）リコー、リコージャパン（株）広島支社の特別協賛のもと、小・中学生 59 名、保護者 27 名が参加し実施しました。また、春休み 1 日コースは令和 2 年 3 月 14 日、15 日に北の丸の「科学技術館」で予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となりました。

4. 植物研究助成

第 28 回の植物研究助成は、令和元年 5 月 17 日熱海の植物研究園において、研究者 24 名に総額 32,980 千円を贈呈しました。また贈呈式後、二宮先生（植物審査委員）の講演を行いました。

令和元年度に募集、審査を行った令和 2 年度第 29 回植物助成では、23 件、助成総額 32,990 千円の助成が決定しました。

5. 植物研究園の一般公開

春の一般公開を平成 31 年 4 月 15 日～24 日の 10 日間行いました。期間中の来場者は 331 名でした。紅葉に合わせて秋の一般公開を令和元年 11 月 25 日～12 月 4 日の 10 日間行いました。期間中の来場者は 590 名でした。